

3 月 23 日 (水) 12:00 ~ 13:00 Z 会場

男女共同参画ランチョンセミナー

筑波研究学園都市でのキャリアパスとは～女性研究者の視点から～

主催：日本植物生理学会・男女共同参画委員会

演者：森林総合研究所 企画部広報普及科長 松本麻子先生

蝶よ花よと育てられ、高校にあがるまではピアノとバレエを習い、将来はピアノの先生になりたいと思っていたはずが…、高校で出会った生物の先生の影響で、大学は農学部に進み研究者を志すことになりました。地方大学で学んでいた頃には想像もしていなかった筑波研究学園都市での研究生活。プロジェクトのポストドクからスタートし、研究職員として就職、現在は支援部門で管理職をしています。このセミナーでは、山あり谷ありの 20 余年の間で、勤務環境やワークライフバランス、キャリアパスについて考えたことなど、飾らず、盛らずにお話します。男女共同参画の取組とともに歩んだとも言えるこれまでを振り返りつつ、最後はこれからのキャリアについても触れたいと思います。所詮、ひとりの女性研究者の例とはなりますが、その中からも何かの気づきやヒントが生まれてくれればと思います。

このセミナーは日本語で行われます。